

不死鳥のごとく甦り  
誇りを胸に  
オリンピックの舞台へ



宇都宮ブリッツェン  
増田 成幸選手 (37 歳)

プロフィール

スペインで開催された国際基準レースで 20 位をマーク。  
2021 年開催の東京オリンピック自転車競技 (ロード)  
日本代表候補選手に決定。

昨年10月、スペインで開催された、東京オリンピックの日本代表選考の対象となる国際基準レース。

日本代表に選ばれるのは選考ポイントの高い上位2位までですが、本レースの出走前、増田選手の選考順位は3位。代表に選出されるには、25位以内にゴールしなければなりません。気温10℃の雨天の中、上り坂が繰り返される高難度のコースでは、激しい戦いが繰り返されました。

増田選手は、この厳しいレースを20位でゴールし、見事、東京オリンピック日本代表の座をつかみ取りました。

全てのレースが終わった今、「日本代表決定という結果に、正直、ほっとした」と胸をなで下ろします。日本代表選考は2019年1月から始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による選考中断で、選手たちは2年近い期間を戦うことになりました。

また、選考基準の変更や国内全レースの中止など、苦しい状況が続き、増田選手は「とてもナーバスになったし、ストレスもあった」と語ります。「最後の選考となるヨーロッパに望みを懸けた。対象レースに参戦し、自身の力で代表

の切符をつかみ取ることができてよかった」と代表選考を思い返します。

スペインに遠征する前の1カ月間、増田選手は、一人奥日光で血のにじむような高地トレーニングに励みました。「一人で寂しさもあったが、目標に向けて準備した金精峠を1日に7回上り、体を追い込んだ」と語ります。

東京オリンピックについては「メダルを取れる可能性はある。せっかくの自国開催の五輪。楽しみ、全身全霊でやる」と意気込みます。さらに「レースでいい成績を残すのは自己目標だが、頑張る姿を見た人の生きるエネルギーになったらしい」と話します。

「2011年に自転車のまちをホームとする宇都宮ブリッツェンに加入し、育ててもらった。温かく見守ってくれた市民の皆さんに感謝したい」と、増田選手。「チーム・まち・日本を背負って大会に出られることは誇り。ロードレースは、東京オリンピックの競技の中でも1番初めに開催される。ぜひ応援してほしい」とはにかみます。

苦難を乗り越え、力強くペダルをこぎ出す先には、夢の舞台が待ち構えています。